

みなとつぷ

Takanawa
Community News Magazine

高輪地区情報紙

2015年3月
Vol.26

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課
編集：みなとつぷ編集室



CONTENTS

2 街が変わる

東京都庭園美術館が
リニューアルオープン!!

3 この街にこの人あり

沢松 奈生子さん
(元プロミスプレヤー、テニス解説者)



4 地域のあしあと

今に残る江戸の建造物②

6 暮らしプレイバック

石松 勝さん

私の自慢・地域の自慢
気になる「ぎょうにやん」

7 地域で活躍する 若者たち

先生はアメリカンスクールの
高校生

イベント豆知識

再発見！ソメイヨシノの素顔

8 区からのお知らせ

表紙絵

木花之佐久夜毘売

【作者】画家 三嶋 禮雄さん(高輪在住)

絵のタイトルについて

(古事記から)

山の神(父)大山津見神(オオヤマツミシノ)から
代を譲られた女神、富士山の神でもあり、花は
桜を象徴する女神。「木乃花咲夜姫」とも書く。

他の絵もご覧になりたい方は、
携帯配信各社「癒しの楽園」で
ご覧ください。またはQRコー
ドでアクセスしてください。



桜の花に思うこと

毎年春が近づいてくると、何かと桜の事が気になるのは私だけでしょうか。桜の蕾が徐々に開花し、やがて満開になり、ついには花が散って地面が花びらで覆われる、という移り変わりを見るのが楽しみです。桜の花は満開からたったの一週間程で散ってしまいますが、ちょうど桜の花や気候の慌ただしい変化が、新年度の行事の記憶と重なり、桜を見ると懐かしい思い出がよみがえります。

現在我々が目にする桜の品種はソメイヨシノが多く、日本全国で多くの人が見て楽しんでいきます。しかし、ソメイヨシノが全国に広まる明治時代より前は、人々は各地の自生種の桜を見ていたそうです。かの有名な奈良県吉野山で桜といえばヤマザクラ、関東の海沿いではオオシマザクラ、長野や仙台ではエドヒガンザクラがかつての桜の姿ではなかったかという説があります。

ソメイヨシノの花の特徴は、葉より先に花が出てきて、その花が大きいということです。そのため木が花で覆いつくされ、とても見栄えがします。

先日、港区高輪地区総合支所で公園や街路樹の管理をされている方に桜の木についての話を伺う機会がありました。地域の公園・児童遊園には合計で約120本の桜があるそうです。桜のシーズンに地元の人を楽しんでもらうために、樹木医による外観検査、月1回の巡回点検、剪定・施肥など年間を通してきめ細かな管理をされているそうです。また、元気のなくなった老木などには樹勢回復治療として、幹の一部が傷んで空洞になった所に新たに根を発生させることや、根に空気を送るエアレーションという作業を行うそうです。

日本の春には欠かせない桜、特にソメイヨシノは多くの木が同じ時期に咲いてお花見が出来るメリットがある反面、同じ病気にかかりやすいデメリットもあるようです。日本のソメイヨシノを美しく後世にまで守り伝えられる様にみんなで守って行きたいものです。

街が変わる



本館 外観全景*

東京都庭園美術館がリニューアルオープン!!

2014年11月22日、白金台にある東京都庭園美術館がリニューアルオープンしました。3年間にわたり、旧朝香宮邸の美術館本館の改修と新館の改築が行われました。新館には、ギャラリー、カフェなどがつくられました。

リニューアルのねらいと苦労した点

- 本館の改修については、東京都有形文化財の指定を受けており釘一本打つにも関係省庁の許可が必要で、細心の注意を払いながら改修しました。
- 新館に広いギャラリーをつくり、大きな作品や本館にマッチしなかった作品を展示することができるようになり、展示会の幅が広がるようになりました。
- 新館は、現代的デザイン・最新の建築技術を駆使しながらも本館との調和が図られるよう設計されています。
- 本館は1933年の建設当時の朝香宮邸をできるだけ復原していますが、美術館としての機能も果たせるようにしています。外装は建設当時の手法で新たにリシンをふきつけ、かき落として仕上げています。内部では電気など設備関係を新館に集約、殿下居間の壁紙・カーテンは竣工当時の姿に復原、経年の劣化でひびの入った香水塔の修理などが主な修復点です。
- 家具は新しく作り直したものもあります。



↑ アンリ・ラパンのデザインによる噴水器は、上部の照明部分に香水を施し、香りを漂わせたことから、現在は香水塔と呼ばれている

← ルネ・ラリック作「正面玄関」の翼を広げた女性のレリーフ扉



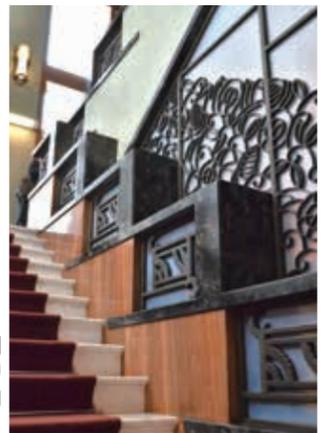
↑ ルネ・ラリック作のシャンデリアが目玉の「大客室」*



↑ 大きく円形を描く張り出し窓が独特な「大食堂」*



↑ 竣工当時の内装を復原した「殿下居間」*



→ 3種類の大理石を用いた「第一階段」。手すりの嵌めこみ金物はブロンズ製銀イブシ仕上げ



↑ ピンクの大理石製マンツルピース、丸い鏡が女性らしい「姫宮居間」



→ 「若宮居間」のステンドグラスによるペンダント照明



↑ 妃殿下ご自身がデザインされた「妃殿下寝室」のラジエーターカバー



↑ 「新館」の展示室に併設されたテラスとショップ

この美術館の見所

朝香宮邸だった本館建物の設計は宮内省^{たくみ}内匠寮で行われ、大広間、大客室、大食堂などの主要な部屋のインテリアはフランスのデザイナー、アンリ・ラパンによって行われました。入り口正面ガラスのレリーフや照明器具などは宝飾デザイナー、ルネ・ラリックによりつくられています。当時の日本、フランスの建築家、デザイナー達が渾身の力を結集し、作り上げたアール・デコ建築の傑作です。外観はシンプルですが、内部は細部までデコラティブなアール・デコ様式となっています。

アール・デコのインテリアデザインももちろん見所の一つですが、建築物の材料や職人の仕上げの技術の高さを見てほしいと思います。建築物の材料で言えば、大理石だけでも世界各国から集められた50種類以上のものが使われています。第一階段の手すりに使われている大理石は、イタリア産の金が入った最高級のポルトロで仕上げられています。寄せ木細工の床も部屋により、さまざまな木材が使い分けられています。

また、施工は当時の職人が惜しげもなく時間と手間をかけて作り、現代の職人が見ても驚くような技術の高さで仕上げられています。フランス人のデザイナーは、図面を送ってきていますが、一度も来日していません。もし完成されたものを見たらさぞ驚かれるのではないかと思います。

たとえば、大食堂の多層の曲面のモルタル仕上げの技術、模様が連続するように貼られた大理石の施工技術、隙間のない寄せ木の床の施工などです。

今後の予定

庭園の改修については、建設当時の園路の復原、車椅子でも散策できるバリアフリー化が主なねらいですが、4月にはできた部分から開園します。茶室の改修、日本庭園の整備など残された工事も多く、全部完成するにはまだ時間がかかりそうです。

見学を終えて

学芸員の方からお話をうかがい、以前は見逃していた建物細部の細工、材料、施工などのすごさがわかり、この建物の素晴らしさを再認識することができました。古い建物をきちんと残すことがいかに大切なことかが分かります。庭が開園し、本館、新館の展示、庭を連続して鑑賞できるようになったら一層この美術館を堪能できますね。

この街にこの人あり

元プロテニスプレイヤー、テニス解説者

さわまつなおこ
沢松奈生子さん

私はテニスをするために生かされていると思えました

錦織選手の活躍などで、日本中テニスブームで沸き返っています。歴代日本女子プロテニスプレイヤーの中でトップクラスといわれている沢松奈生子さんが高輪地区にお住まいと聞き、インタビュをお願しました。テニス解説者としてご多忙の中、貴重な時間を割いていただき、お話をうかがうことができました。

ご家族にテニスプレイヤーが多くおられますね。何歳からテニスを始められましたか？

私は兵庫県西宮市の出身で、曾祖父が貿易の仕事をしており、外国のお客さまを接待するために、家にテニスコートがありました。家族ともども、コートでテニスを楽しむ機会が多かったのです。そんな訳で両親、叔母、弟もテニスプレイヤーでした。家族でテニスを楽しむ家庭の雰囲気は選手に育てたのだと思います。私も何歳から始めたのか覚えていません。よちよち歩きをする時から、すでにラケットを持ってテニスコートにいる写真があります。



5才から10才まで、ドイツにおられましたね。ドイツでのテニスの思い出は？

ドイツのコーチからテニスを教えられました。ドイツのコーチは、テニスに楽しむことを第一に考えていました。ボール遊びのようなことから始まり、上手にできることも褒められました。テニスをすることが楽しくなったのは、このコーチのおかげだと思います。

小中学校時代、練習は何時間しましたか？勉強との両立は大変だったでしょう？

朝1時間、夕方1時間、必ず練習しましたが、今の子どもたちに比べて練習時間は短かったと思います。やはり、家にコートがあったのと両親がコーチだったおかげで効率的な練習ができたためでしょう。テニスの練習も勉強も集中して短時間でこなすタイプだった様で、苦労をしたという記憶はそれほどありません。15才で全日本選手権に初めて出場されていきなり、初優勝された時のお気持ちは？

正直、優勝するなんて全く思ってもいませんでしたが、この位の年齢の時、急に実力が伸びることがあるのです。波に乗って、勝ち進んで優勝してしまいました。自分でもびっくりです。オリンピックの平泳ぎで金メダルをとった岩崎恭子さんもこの位の年齢の時でしたね。

大学入学と同時にプロになられた動機は？

アマチュア時代からWTAツアーにでていましたが、賞金をもらうと、それを返す事務手続きが大変だったのも理由の一つですが、上手なプロの選手と対戦して

上達できるのも魅力でした。**プロになられて、世界各地を転戦してどうでしたか？**

時差や気候の違いに苦しんだり、飲み水にあたりたりで、体調を整えるのが大変でした。一方、世界各地を回るのも、その国の人種、経済事情、文化の違いなどを実感することができ、学ぶべき点多々ありました。このようなことを体験できることは、プロテニス選手の醍醐味ではないでしょうか。

プロになられて、一番思い出に残る試合は？

やはり、ウィンブルドンのセンターコートに立って、試合ができたのが一番うれしかったです。小さい頃からの夢でしたので。それと、1995年の全豪オープンでベスト8に進出しましたが、その試合も思い出に残る試合です。

全豪オープンの時、阪神・淡路大震災で自宅が全壊したそうですね。その時はどんなお気持ちでしたか？

阪神・淡路大震災の時、父、母、弟も自宅にいましたが、幸い壊れた家の隙間から逃げ出すことができ、みな無事でした。ただ、思い出となる貴重な品物や写真が震災でなくなってしまうのが、今でも残念です。友人なども亡くなった方がいました。

私も自宅にいれば命を落とされていたかも知れません。運良く生き残ったというより、**テニスをするために生かされているという気持ちの方が強かったです。**

全豪オープンでもできるだけ勝ち続けることが、被災者の励みになるという気持ちで試合に臨みました。

錦織選手の活躍と彼の今後について

錦織選手に対する国民の関心・期待がどんどん大きくなってきていますね。そ

の中で、冷静に試合をしているのはすごいです。みなさんの期待を追い風に、益々力を発揮して活躍することも予想されますが、一方、一つつまずくと期待がプレッシャーになりスランプに陥ることもあります。期待が大きすぎると選手にとって良い面と悪い面があると思います。

テニスの練習で注意することは？

テニスは結構激しいスポーツなので、急に試合などをするときがやることがあります。練習する前によく準備運動をすることが大切です。けがをしないことを第一に考えてください。プロでも、練習や試合の前に、あらゆる筋肉を使う入念な準備運動をしています。

テニスは相手の弱点をつくスポーツとも言われていますが？

そうですね。テニスには身体の瞬発力や持久力も要求されますが、相手の反応をみながらプレーをする、将棋のような読みも必要とされる戦略的なスポーツでもあります。

高輪地区にお住まいになって、どのような感想をお持ちですか？

とても気に入っています。緑が多いのは素晴らしいです。公園もあるし、歩道も広く、子どもを育てる環境として最高です。また、庶民的なお店から高級店まであり、多様な生活を楽しむことができます。また、歴史的な文化遺産も多く残されているのがよいです。

ご趣味は？

小さいころからピアノを弾いています。パーティなどで外国のテニスの選手でピアノを弾かれる方が多いのに驚きました。確か錦織選手もお母さまがピアノの先生で、ご自身も習っておられたと聞いています。



ウィンブルドン・センターコートにて

プロフィール

沢松 奈生子（さわまつ なおこ）
1973年生まれ。西宮市出身。母親の沢松順子、叔母和子、父親忠幸ともウィンブルドン出場というテニス一家に生まれ育つ。1988年、15歳で全日本テニス選手権の女子シングルスに初出場、初優勝。1990年に「シンガポール・オープン」でWTAツアー初優勝。大学進学と同時にプロ入り。1995年の全豪オープン選手権で4大会の自己最高成績8位を記録。10年間にわたり世界ランキングトップ50位以内の座を維持。4大会でも、1990年全仏オープンから、1998年全米オープンまで「34大会」連続で本戦に直接出場。ウィンブルドンでは1990年（1998年まで9年連続出場、オリンピックには、1992年バルセロナ五輪、1996年アトランタ五輪に2度連続で出場。1998年に現役引退後、テニス中継の解説者・コラム執筆などに携わり、現在、日本テニス協会普及本部環境委員。

取材を終えて

若々しく、エネルギーが豊富な方で、我々のいろいろな質問によくお答えいただき、さまざまな質問に丁寧に答えていただきました。また、試合での様子とは違い、コートの外では上品で優しい人柄の方とお見受けしました。

（担当）安藤、明石、森、松島、河井

地域のあしあと 今に残る江戸の建造物 ②



今号は前号に引き続き、高輪地区に残る江戸時代の建物をお楽しみください!

① 泉岳寺 【中門】【山門】【義士墓入口の門】 高輪2-11-1



曹洞宗の特徴ある伽藍構成で、本堂(戦後再建)、山門、中門が直線上に配置されている。さらにその線上の第一京浜辺りには、かつて「総門」があったが、現存しない。

港区立港郷土資料館提供「港区の歴史的建造物」より
中門 1836(天保7)年に再建。木造平屋建銅瓦葺切妻造の四脚門*



山門 1832(天保3)年に再建。楼門*の形式で入母屋造本瓦葺の八脚門



義士墓入口の門
明治初期、浅野家の鉄砲洲上屋敷の裏門を移築したもの。木造平屋建本瓦葺。
義士祭の日には大勢の人がこの門をくぐっていく(本紙25号「イベント豆知識」参照)

② 廣岳院 【本堂】 高輪1-24-6

1594(文祿3)年芝西久保に曹洞宗の寺院として創建、1653(承応2)年当地へ。青山火事(1845年)で罹災したが、ご住職のお話によると、当時の江戸北町奉行本鍋島内匠頭直孝(52歳で没し、当寺に葬られる)により同年中に再建された。

1865(慶応元)年4月から翌年2月まで、幕命によりプロイセン(ドイツ)の領事宿寺となり、その現存例として貴重な建物である。



本堂・外観



本堂は木造平屋建。仏座以外を和風書院とする方丈型本堂



直孝の町奉行としての格に合わせたため、本堂自体の規模より大きな式台*の玄関となっている

③ 宝生院 【本堂】 三田4-1-29

三田の寺町に立地する、真言宗智山派の寺院で、桜田通りに面している。1611(慶長16)年に八丁堀に創建、1635(寛永12)年に現在地に移転したと伝わる。

寛政年間(1789~1801)に火災に遭い、その後火災に強い土蔵造*にしたと言われる。



本堂・外観 寄棟造棧瓦葺 現在では珍しい土蔵造*の本堂



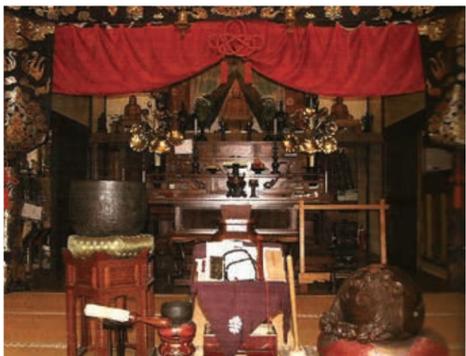
本堂・内陣 19世紀前期の造営と考えられる。柱は当時のまま。間口に比べて奥行きが深い

④ 玉鳳寺 【本堂】 三田4-11-19

曹洞宗で梧棲山と号し梅庵俊鷲大和尚が1599(慶長4)年八丁堀にて開創。江戸城拡張工事のため1635(寛永12)年現在地に移転。その後、幾度かの火災に遭うが、青山火事(1845年)で類焼し、19世紀中頃再建された。



本堂・外観 寄棟造り棧瓦で、向拝唐破風の大きな建造物である



本堂・内陣 本尊が一段高く安置されている

港区立港郷土資料館提供「三田寺町の江戸建築」より

⑤ 覚林寺 【清正公堂】【山門】 白金台1-1-47

覚林寺を開創した可観院日延上人は、朝鮮の王族出身で、加藤清正に連れてこられ、大切に育てられたことに恩義を感じ当寺を開創し、清正公をお祀りした。寺院は青山火事(1845年)で全焼。清正公堂は1865(慶応元)年、山門は1856(安政3)年に再建。



清正公堂(正面) 木造平屋建

清正公堂(側面)



側面奥から本殿・幣殿・拝殿の三つのお堂が複合された権現造*で、うち本殿は土蔵造*



山門 木造平屋建、銅板葺の薬医門、左右に潜り門を設ける

- *四脚門…奈良時代に初めて現れたと推定される門形式の一つ。2本の円形本柱の前後に4本の方角の袖柱を配した門。門の格式としては最も高い。
- *楼門…2階建ての門
- *式台…住宅における公式の出入口、玄関の前に設けられた板敷の部分。武家住宅に始まり、のちに貴族、寺家等に広まる。近世の社会的地位の象徴の一つとなった。

- *土蔵造…日本建築における耐火建築構造の一つ。壁土で覆われているのは外部のみで内部は木部が露出している。開口部は観音扉、土塗りの引戸、鉄扉などでふさがれ防火的とされる。
- *権現造…神社本殿形式の一つ。本殿の前に拝殿をおき、その間を石敷きの相の間(幣殿)で連結した形式のもので、屋根は連結する。桃山時代の靈廟に広く使われ、日光東照宮本殿に用いられたことから、権現造と言われるようになった。

建築大辞典 第2版 普及版(彰国社・1993年6月10日発行)より引用、参考: 図説 歴史散歩事典(山川出版社)

江戸に触れる!! 肥後熊本藩細川家屋敷跡遺跡発掘調査

高輪1-13-14所在

旧宮内庁宿舎跡地では昨年8月から港区教育委員会による発掘調査が行われ、同10月9日現地見学会がありました。係の人の説明によると、このあたりは細川家中屋敷跡で、発掘現場周辺は藩士の家があった可能性があるといわれ、数基の井戸(1基は今も水が湧き出た)や、溝跡、出産に関わる祭祀跡など、江戸時代の生活の痕跡が多く見つかり、陶磁器や瓦、土器などたくさんの遺物が出土しました。現在も調査中で詳細は明らかになってはいませんが、今回の遺構・遺物からは江戸時代後半から幕末にかけての藩士たちの生活の様子がうかがわれるとのことでした。

茶わん・小鉢・皿などの日常雑器は肥前や瀬戸・美濃地方で数多く生産されており、現在の和食器の原型は江戸時代にあること、当時の有名な産地で作られた、泉州印がついた素焼きの焼塩壺も見つかり、江戸時代の流通の一端を知ることができること、等々興味深い話をたくさん伺いました。

出土品の中には、酒屋の屋号の入った通い徳利、紅血、甕を転用した植木鉢、京都産の鳩笛など(何れも破片)があり、当時の武士の暮らしぶりを想像できました。

江戸時代に実際にここで暮らしていた人々がいて、その生活を垣間見たような小さな興奮を覚えた貴重なひと時でした。



出土品の数々



発掘調査の様子

<参考文献>「港区の歴史的建造物」「三田寺町の江戸建築」(港区立港郷土資料館) / 「図説 歴史散歩事典」(山川出版社)

戦争を体験し、平和への思いを伝えたい

今年先の太平洋戦争終結から70周年を迎えます。軍人としても戦争を経験された石松勝さんに貴重な体験談を語っていただきました。



暮らしプレイバック

お話を伺った人 **石松 勝**さん(94歳・高輪在住)



石松 勝さん

私は福岡県にある小倉師範学校で教師をめざし学んでいるときに、強制徴兵により陸軍321連隊へ配属となりました。1943(昭和18)年、23歳でした。当時の同級生41名中2名は特攻隊で戦死しております。配属後、鹿児島、熊本、東京など2年半で6か所を異動しました。東京に転属になり一時高輪に住んだのは1944(昭和19)年、その時のご縁で戦後から現在まで高輪に住むことになりました。

広島に原爆が

1945(昭和20)年8月、私は広島県西条町、今の東広島市に駐屯していました。8月6日に原爆が落ちた時のことは忘れることができません。警報がなり、南方から飛んできた飛行機が通りすぎて空襲警報が解除になった後、ピカッと光ってゴロゴロという雷のような音がしました。広島市と西条町は30キロぐらい離れていて、間に山があるのでドンという音がこだまのように反響し、しばらくするとキノコ雲が空一面にひろがっていくのを見えました。

昼過ぎになって、救援依頼の連絡があり、私は翌日に広島市に入り救援活動をしました。市内はたとえようもないぐらい悲惨な状況でした。救援活動は8日間ぐらい続き、私自身被ばくしたことが後でわかり、1976(昭和51)年に被爆者手帳が交付されました。疲れやすいことはあっても無事、90歳過ぎまで生きてこられたことで、当時を思い、再びあの悲劇を繰り返さないよう、毎年、広島慰霊祭に参加しています。

終戦を迎え

広島で終戦を迎えたときは歩兵321連隊の軍旗旗手を



1964(昭和39)年、軍旗とともに

務めていました。8月15日の終戦と同時に軍旗を焼くよう命令があったのですが、当時の連隊長の指示で軍旗を焼かず山口県の某所に隠しました。

命令に背いたことで処罰が下されると考え、連隊長とご家族共々4人で死を覚悟で、当時被ばくして入院中だった参謀の元に最後の挨拶にいったところ、参謀に命を大切にと諭され思いとどまりました。その時は通常の状態を超えていたと思います。ご一緒した連隊長の娘さんからは今でも年賀状が届きます。

隠し持った軍旗はその後、1993(平成5)年に靖国神社に奉納し、遊就館皇族の間に保存されています。

戦後高輪で

1946(昭和21)年、高輪にある建設会社石松組に一期下宿した折に出会った娘さんと結婚。石松組の夫婦養子となり、以来、高輪に住んでいます。

宮様のお屋敷が多いということもあったのか戦火は殆ど免れたものの、都電が走っていた当時からすれば、今の高輪の町並みの変わりようには驚かされます。

平和への思い

戦争の恐ろしさを身をもって体験した者として、平和の大切さを特に未来を担う子どもたちに伝えていきたいと思っています。

(担当/吉田、安藤、明石、渡邊)

気になる“ぎよらにゃん”

「ぎよらにゃん」に会ったことがありますか? 金曜日の午後、魚籃坂周辺をお散歩しているゆるキャラです。生まれたのは昨年明治学院大学経済学部服部ゼミナールの学生さんたちが仕掛け人です。服部圭郎教授、「広報」の西村さんと松岡さん、「B級グルメプロジェクト」の石黒さんにお話を伺いました。

魚籃坂周辺を全国ブランドに

ゼミ生は、生きた経済を学ぶのに必要なフィールドワークを行う為に、魚らん商店会の一角に「魚らほ」と呼ばれる研究室を構え、商店主の方々に協力をいただきながら、魚籃坂周辺を広く知ってもらうために試行錯誤しています。



魚らほでの議論白熱するゼミ風景

モンと、魚らん商店会のお店から紹介してもらった米粉麺で、従来のB級グルメとは違う、珍しさも健康イメージをかし出す一品という方向で進行中です。(石黒さん)

2013年には、地域振興の一策として、このゼミが企画したコンテストから「ぎよらにゃん」というゆるキャラが生まれました。「気になるぎよらにゃん」という曲を作って、レコーディングもしています。2014年全国ゆるキャラコンテストに出場し、1341位。2015年は100位以内に入る事を目標に、さらに皆さんに応援していただけるよう活動の範囲を広げていくつもりです。是非、「ぎよらにゃん」に投票してくださいね。(西村さん・松岡さん)

B級グルメにも挑戦!

次なる大きなプロジェクトは地元素材を生かした「B級グルメ」の開発です。都会でするので、なかなか地元で生産される食材というのは難しいのですが、白金のお店ルートから仕入れるホル

この地域で暮らしながら、知らず知らず次世代の日本経済を支える若者の成長を育む一翼を担っていることに気づきました。彼らが仕掛ける動きに、どんどん参加しましょう!(担当/森、安藤、松島、増田)

私の自慢 地域の自慢

「ぎよらにゃん」は毎週金曜日、午後3時から4時まで魚籃坂周辺をお散歩しています



毎週金曜日、午後1時30分から8時まで魚らん商店会館で活動しています。遊びに来てください。
●服部ゼミナールのホームページ
<http://hatoriseminar.wix.com/hatoriseminar-ng>
魚らほの活動やイベントをチェックしてください。「服部ゼミナール→More→活動報告」からご覧になれます。

地域で活躍する 若者たち

先生はアメリカンスクールの高校生

今回紹介する若者たちは、アメリカンスクールの女子高校生たち。少しでも英語が上達したいと思っている人たちの役に立ちたいと頑張っています。題して「英会話サロン おもてなし大使 オリピック・パラリンピックボランティアを目指そう!」、白金台いきいきプラザで開催されるアットホームな英語教室です。

2020年の開催が決定した東京オリンピック・パラリンピック。世界から集まる外国の人たちと英語で話し、おもてなしの心で接したいと思っている人も多いと思います。そんな人たちを一生懸命手助けをしようと活動しているのが、アメリカンスクールに通うアンナさんとミラさんです。

もともと彼女たちはアメリカンスクールのクラブ活動で日本の子どもたちに英語を教えていましたが、大人たちともたくさん話し、日本語や日本のことを学びたいという気持ちが芽生えてきました。そこで大人向けの英語教室を行いたいと、白金台いきいきプラザを訪れたそうです。

1時間の授業では、道を聞かれたときの答え方やアメリカ文化の紹介など盛りだくさん。分からないことがあればいつでも自由に質問でき、雰囲気は温かさを感じます。参加者たちは、先生たちがまるで孫のようで、頑張っている様子を見ると応援したくなる、と目を細めていました。

学んだ英語を使ってオリンピック・パラリンピックのおもてなしや海外旅行に活用して欲しい、と話す彼女たちの今後の活躍が楽しみです。



左:ミラさん 右:アンナさん

しっかり者の先生たち

現在高校2年生の彼女たち。卒業後の進路はまだ決めていないようですが、海外へ行ったとしても東京オリンピック・パラリンピックのときには必ず日本に戻ってくるそうです。彼女たちが活躍するそのとき、ご一緒できたらとても素敵ですね。



心をこめて作った教材

彼女たちお手製の教材。色を付けたり間違えそうな言葉を強調したり、とても工夫がされています。黒板に書く間は背中を向けてしまうので、できるだけ対話を多くするために教材を活用しようと思ったそうです。暖かい心遣いが伝わってくるようです。

教材も
手作り!!



(担当/増田、本城、土屋、梶)

イベント豆知識



イベントをより楽しむための豆知識のコーナーです。今号では、「お花見」、その中でも一番馴染み深い「ソメイヨシノ」にスポットを当ててみました。

* 桜の代名詞

花の美しさや成長の早さが評判をよんだのでしょうか、明治時代以降全国に広まりました。今では日本の桜の約8割がソメイヨシノだといわれています*1。高輪地区の公園などでも同じ割合だそうです。



白金児童遊園(通称:猿町公園)の桜

* 生誕地伝説

明治時代にその発祥の地とされる現在の豊島区駒込の地名の「染井」をつけて命名されました*2。

* 父母伝説

この品種の起源には諸説ありますが、エドヒガンザクラを母に、オオシマザクラを父に交配されて生まれたとの説が有力*2です。DNAの解析が進むと明らかになるでしょう。

再発見! ソメイヨシノの素顔

日本人の春の最大のイベントといえはなんといっても「お花見」です。桜の花の多くが「ソメイヨシノ」、私たちの心の故郷といっても過言ではないでしょう。その「ソメイヨシノ」に隠されている色々な「ひみつ」に迫ってみます。

* ソメイヨシノならではの桜前線

全国のソメイヨシノは数本の母となる木から接ぎ木などで増やされたため、気候の変化に一律に反応します。その結果、開花予想が可能になり、各地の春の訪れを測るバロメータになりました*3。



桜が満開の亀塚公園

川沿いの桜並木伝説

土手に桜を植えたのは徳川吉宗の命令に由来します。洪水を防ぐために桜を見に来る花見客に土手を踏み固めて強化してもらうためだそうです*4。



《参考文献》

- ※1 サクラを救え「ソメイヨシノ寿命60年伝説」に挑む男たち/平塚昌人(文芸春秋)
- ※2 新日本の桜/木原浩、他(山と溪谷社)
- ※3 桜の雑学事典/井筒清次(日本実業出版社)
- ※4 日本史の謎は「地形」で解ける/竹村公太郎(PHP研究所)

(担当/土屋、本城、梶、増田)

区からのお知らせ

タウンミーティングTAKANAWA 2015 メンバー募集!!



高輪地区(三田4・5丁目、高輪、白金、白金台)の魅力や課題解決について、高輪地区総合支所と協働で考え、活動してみませんか。

- 対象** 高輪地区に在住・在勤・在学の人、または高輪地区のために活動したい人
- 会議・活動** ・平日昼間または夜間(おおむね月1・2回程度)の会議
・グループによっては土・日等にイベントを実施
- 内容** タウンミーティングTAKANAWAのメンバーとして、それぞれのテーマに沿って活動していただきます。
- 募集人数** 60名程度



グループ名	内容	任期	募集人数	活動の頻度	第1回全体会議のお知らせ
地域情報紙グループ	高輪地区の地域情報紙「みなとつば」の発行に向けて、編集委員が、企画・取材・編集を行います。	1年間 (27年4月～28年3月)	各15名程度 ※応募多数の場合は抽選	平日昼間または夜間の会議 (各号の編集スケジュールによる) ※取材・撮影は、主に昼間に行います。	平成27年4月10日(金) 午後6時30分～ 高輪区民センター1階集会室 <内容> メンバー自己紹介 活動内容説明 等
高輪今昔物語倶楽部	高輪地区の「今」「昔」の写真を活用し、まち歩きや展示会等のイベントを企画・開催します。			平日昼間または夜間の会議 (おおむね月1・2回程度、土日等にイベントを実施)	
高輪みどりを育むプロジェクトチーム	高輪地区総合支所庁舎で菜園活動、壁面緑化等、緑を広める活動を行います。			平日昼間または夜間の会議 (おおむね月1・2回程度、土日等にイベントを実施)	
地域事業進捗支援グループ	高輪地区版計画書の地域事業について、進捗を確認し、意見交換を行います。			平日昼間または夜間の会議 (おおむね月1回程度)	

申込方法 希望するグループ名・住所・氏名・年齢・性別・職業(学校名)・電話番号・FAX番号・メールアドレスを明記し、郵送またはFAXで下記へ。

申込締切 平成27年3月31日(火) <必着>

※一時保育あり(希望する方は、申込みの際にその旨をご記入ください。) ※報酬・交通費・取材費等の支給はありません。
※各グループへ重複しての応募は可能ですが、応募多数の場合は調整させていただきます。

【あて先・問合せ】 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 〒108-8581港区高輪1-16-25 TEL:03-5421-7123 FAX:03-5421-7626

港区暮らしのガイド2014の訂正について

平成26年11月に発行した、「港区暮らしのガイド2014」の掲載記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

皆さまにはご迷惑をおかけし、大変申し訳ありません。

- 対象記事** (1)子育てカレンダー(P56-57)
(2)手話通訳・要約筆記の派遣(P119)

訂正内容 表のとおり

対象項目	正
(1) 相談・教室	ブックスタート(1歳の誕生日まで)
予防接種	BCG(生後1歳未満)
	4種混合
	小児用肺炎球菌ワクチン(生後2カ月～5歳未満)
	麻しん・風しん(1期)
	保健予防課保健予防係
(2) 申し込み・問い合わせ	東京手話通訳等派遣センター 新宿2-15-27 第3ヒカリビル5階

※詳しくは区ホームページをご覧ください。

<港区ホームページ>
<http://www.city.minato.tokyo.jp>



【問合せ】 区長室広報係 TEL:03-3578-2036

平成27年度高輪地区防災ボランティア育成事業

災害時等に地域の力として!「防災ボランティア養成講座」の受講生募集

地域防災力向上のため、高輪地区の大学生及び高輪地区在住者対象のボランティア養成講座を開講します。高輪地区内の大学と連携した講義や訓練で災害時ボランティアに必要なスキルを習得します。

- 防災士の資格を取得できます(条件有)。
- 地域のイベント等にボランティアとして参加し、経験を積みます。



募集要項		実施概要	
申込期間	平成27年4月1日(水)～22日(水)	開講日	平成27年5月17日(日)
申込要件	学生 北里大学・東海大学・明治学院大学の学生(北里大学は5年生、東海大学・明治学院大学は3年生まで)	受講期間	5月～12月に月1～2回(土曜または日曜日)10日間程度(防災士研修講座2日間を含む)
	一般 高輪地区在住で防災や地域活動に意欲のある人	学習内容	防災講座・応急救護・地域と交流体験・防災士資格取得(防災士研修講座)
申込方法	学生 各大学で配布する申込用紙に必要事項を記入のうえ各大学窓口へ提出 一般 高輪地区総合支所協働推進課で配布する申込用紙に必要事項を記入し、高輪地区総合支所協働推進課協働推進係へ提出 ※申込用紙は4月1日(水)から配布	会場	北里・東海・明治学院各大学、港区施設等
定員	20名程度(選考)	費用	無料(防災士研修講座は、全課程の7割以上出席した場合に無料で受講できます。)

※詳細は区ホームページや広報などに掲載予定です(4月予定)。

<港区ホームページ>
<http://www.city.minato.tokyo.jp>

【問合せ】 高輪地区総合支所 協働推進課 TEL:03-5421-7621

編集だより

▼編集スタッフの熱心な取り組みのおかげで25号、26号と徐々に読みやすく、充実した紙面になってきていると思います。(安藤)

▼改装された庭園美術館。フランスの様式ばかりでなく、日本の職人の秀逸な技術が随所に見られることに感激しました。(梶)

▼旬のスポーツであるテニス、将来有望な学生さんたちの挑戦、元気の出る話題をお届けできたと思います。いかがでしたでしょうか。(森)

▼テニス解説者、元名プレイヤー・沢松奈生子さんは高輪地区在住で、気品がありさっぱりとしたお人柄に、強く感銘を受けました。(明石)

▼高輪はなんと奥深いところなんですよ。ここに住んでいることに誇りを持ち、益々高輪に愛着を覚えています。(伊関)

▼東京都庭園美術館は、4月から徐々に公開される予定の庭園部分も、今からとても楽しみにしています。(川上)

▼少しでもよい記事をと意見が飛び交い、原稿に何度も手を加えたり、写真を何度も撮りに行ったりと熱心な仲間達との1年。感謝!(滝川)

▼桜にまつわる話を聞いたり資料に接すると、この季節に、自分も含めて皆の関心が桜に集まる理由が分かったような気がします。(土屋)

▼春を彩る高輪地区の公園の桜。これは高輪地区総合支所土木係の皆様、心のこもった手入れのお陰であると知りました。(本城)

▼地域の方と関わる楽しさを肌で感じ、高輪地区が大好きになった1年。皆様、本当にありがとうございました!(増田)

▼幾つか写真を撮りましたが、記事を盛り上げ、素敵に撮ることの難しさを痛感し、遂方に暮れる日々でした。いつか克服したい。(松島)

▼背筋を伸ばし淡々と戦争体験をお話される石松さんからは平和への強いメッセージが伝わってきました。(吉田)

▼東京音頭の翌年に出来た「さくら音頭」。今は忘れ去られているが、高輪地区の皆で唄い、再び広められたらよいと思う。(渡邊)

区民編集メンバー

- 安藤 洋一(チーフ) 川上 智子 増田 祐輝
- 梶 昌夫(サブチーフ) 河村 保弘 松島 佐紀子
- 森 裕子(サブチーフ) 立川 元紀 吉田 由紀子
- 明石 美穂子 滝川 まりえ 渡邊 義信
- 伊関 則子 土屋 和夫
- 河井 一彦 本城 光子

※この情報は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。

事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係

5421-7612 / 保健福祉係

5421-7085